

2025年度 自己評価書

学校法人藤天使学園 苫小牧藤幼稚園

(教育方針)

「ひとりひとりの 咲くべき花を 咲かせよう
～ うつくしく やさしく しなやかに ～」

1. 人格の基礎作りとなる幼児期に、キリスト教の人間観に基づき生涯を見据えた「人間としての生き方や考え方、そして人との交わり方」などについて、しっかり身につくよう日々の教育活動を進めます。
2. 園児一人ひとりの個性を大切にしながら、幼児期にしかできない豊かな体験を通して、心の育ちを育むことに努めます。

1 本年度の重点目標

2 評価方法

評価方法は、目的達成状況などに応じ7段階とする。

- A → 十分達成されている。
- A- → 概ね達成されたが、工夫や改善する必要がある。
- B+ → 若干上回って達成されている。
- B → 達成されている。
- B- → 概ね達成されているが、工夫や改善する必要がある。
- C → 取り組まれているが、成果が十分でない。
- D → 取り組みが不十分である。

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	実施状況と改善方策
教育課程・指導	1 建学の精神であるキリスト教や教育目標・方針について、教職員と定期的な話し合いなどを通じて理解を深めている。 2 幼稚園教育要領を理解し、園児の特性に応じ、又、主体的な活動を尊重するとともに遊びを通して総合的な指導を行うなど、発達状況に即した指導を行っている。 3 年間の行事予定や指導計画などは、教職員と協力し、工夫を凝らし策定している。	A-	建学の精神に基づいた教育目標、指導計画については、教師間の話し合いを密にし、充分に理解を深められるように努めています。園行事は、子ども主体で楽しめる内容を創意工夫を加えながら実施しました。今年度も、子ども達にとって楽しい経験になるように子ども主体で進めていけるように工夫しました。 今後も教員の資質向上に努め、教育内容の充実を図るため、研究・研修に取り組んでいきたいと考えています。
保健管理	1 学校保健計画を作成し、家庭や保健・医療機関と連携のうえ実施している。 2 日常の健康観察や疾病予防の取組みのほか、健康診断を定期的に行っている。	A	保護者や医療機関と連絡を取りながら保健計画を作成し、健康診断などを実施しました。今年度も感染症リスクを減らすために、うがい・手洗い・手消毒・マスク・換気などに気を付け毎日の検温・空気清浄機・加湿器など、予防のため拡散防止に努めました。今後も保護者や医療機関などと連携し園児の健康管理と疾病予防対策に配慮していきたいと思ひます。また、薬剤師の指示に従い幼稚園で必要な項目を点検し子どもたちの安全に努めました。

安全管理	1 安全計画や防災計画を策定し、定期的に避難訓練などを実施し、安全対応能力の向上を図っている。 2 危機管理マニュアルを作成し、教職員が消防機器の安全点検や避難路確保などを行っている。	A-	危機に対する対応については、万一の事態に備え、定期的な避難訓練、避難路の確保や消火器の点検と配置場所の確認など安全確保に注意しています。今年度も園内の防災について再チェックし、月1回の訓練、園児引き渡し訓練も保護者と共に実施し近隣の学校との連携・訓練も行いました。 交通事故の防止については、安全運転の徹底に努め、日頃から注意喚起し、細心の注意を払っています。 今後もより一層事故や事件に巻き込まれないよう、教職員の危機管理の意識を高め、保護者の協力を得ながら、その防止に努めていきたいと思っています。
特別支援教育	家庭と連携を図るとともに園内支援体制の下、園児ごとの指導計画を作成している。	B+	園児一人ひとりの家庭環境や健康状態などをしっかり把握し、保護者の理解や教職員全員による共通認識のもと指導計画に沿って教育活動を実施しています。 これからも保護者や関係者と連携し、園児一人ひとりの個性や自立心などを尊重しながら保育にあたっていきたいと思っています。
組織運営	1 クラス担任や主任を配置するなどし、教職員相互の連携協力の下、園の適正・円滑な運営に努めている。 2 園児等の個人情報の取扱いと管理については、適正に行っており、また、保育に関わる公文書についても適切に管理している。 3 教職員の勤務時間や服務などについては、就業規則の定めに沿って適正に対処している。	A-	園の教育方針のもと、教職員が話し合いや相談などを重ね、共通認識を持つとともにコミュニケーションを十分図りながら保護者などの理解と協力を得て、円滑な運営に努めています。 個人情報の取扱いは細心の注意を払い、取り扱っています。 また、就業規則に関する法令等の遵守については、定期的な話し合いなどを通じて適切な取扱いに努めており、これからもそのように対応していきたいと考えています。
研修（資質向上の取組）	園内外における研修については、教職員が積極的に参加し、能力・資質の向上に努められるような環境を整えている。	A-	教師としての誇りを持ち、謙虚にまた、責任感をしっかり自覚するとともに保育の質の向上を図ることが大切なことと考えています。 また保護者に誠実に丁寧な対応で信頼に応えるよう努めています。今年度の研修も、学びたい研修内容を受け、話し合う機会を設けました。 これからも計画を立てて学びの場を作っていきたい。
教育目標・学校評価	1 教育目標を設定するとともに、全教職員による自己評価を実施し、次年度の教育活動の参考としている。 2 園に対する保護者からの意見・要望については、適時実施し、可能なものから順次取り入れるなどしている。	A-	教職員による自己評価については、毎年年度末を目途に実施し、学園のホームページで公表しています。 また、自己評価の結果を確実に次の年の保育活動に生かすことが大切であり、これからも保護者との信頼関係を大切にするとともに、意見やニーズにしっかり応え、充実した保育と円滑な運営に努めたいと考えています。

情報提供	1 園児等の個人情報については、適切、かつ慎重に取り扱っている。 2 園だよりやホームページ、更には保護者との懇談などの機会を活用し、教育活動などの情報提供に努めている。	A-	個人情報については、大切なことと考えており、誤った取扱いがないよう慎重に、また十分配慮して対応しています。 園児の活動状況や行事の内容をお知らせする「園だより」を随時必要に応じて発行するほか、参観日は学期毎に行い心配な保護者には懇談をし連絡帳や電話での相談も受け出来るだけ心配のないようにし保護者のメール一斉送信を活用し情報を共有し迅速な対応をしました。今年も年6回子ども達の園生活の様子を専門の業者の方に依頼し動画配信を行い安心感につなげていきました。
保護者・地域住民との連携	1 P T Aとの懇談やクラスごとの交流などを通じ、保護者と連携を図り、園の適正な運営に努めている。 2 地域の文化や伝統に触れる機会を大切にしている。	A-	今年度も行事等の工夫、参観日の内容に子どもの成長を感じられるものを取り入れ、地域との交流は企画をいただいたものには、希望者のみ参加したり、子ども達の経験はできるだけ行えるように、地域や市に協力を受け行いました。また卒園児や保護者の演奏会など企画をいただき共に考え音楽に触れる機会を持ちました。また市が“こどもどもんなかプロジェクト”を進めプロジェクトに参加しました。
子育て支援	園児の心身の健康と発達の状況などについて、保護者と共通理解を得るように努めるとともに家庭や専門機関と連携を図り適切な指導を図っている。 また、保護者の子育てへの不安、育児のニーズを理解しようと努めている。	A	園児一人ひとりの個性に沿って、保護者との信頼を築きながら、専門機関との情報交換を図り、自立心を育てていかれるよう保育の充実に努めています。 また、子育てに対する不安や質問に応えられるよう専門機関の研修参加などを受けて保護者に情報提供し、保護者の健康講座を行い年4回希望者が講座を受けました。
預かり保育	保護者の実情やニーズに応じ、家庭と連携を図りながら実施している。	A	時代とともに変化する保護者一人ひとりの実情・ニーズを受け、柔軟に対応していくことが大切と考えています。 預かる子供の健康状態の把握し、アレルギー対応など充分注意し、怪我などの報告等保護者と連携を図り安心して利用して頂けるよう心がけています。
教育環境整備	園児にとって安全でふさわしい施設・設備を整えるよう環境の整備に努力している。 また、主体的な活動を促すとともに季節や周囲の自然などを生かした環境に配慮している。	A	園児にとって何よりも安全な教育環境となるよう園庭管理、遊具の配置、施設内の点検など見直し修繕をすぐに行うなど今後を見据えて計画を立て安全管理に努めています。 また、園行事においても、内容の改善やより良い教育活動の提供に努め、実施にあたっては教育理念や季節なども十分配慮した行事を盛り込んで教育活動を行い、今後ともこうした取り組みを基本として教育内容の充実、環境整備に努めたいと考えています。食育で野菜を育て観察・収穫しました。

4 総合評価

達成状況	計画に対する評価と課題に対する今後の改善方針など
A-	キリスト教の理念を大切に学びを深めながら、よりよい園運営に取り組んでいけるよう意識を高め、教職員がお互いに協力し助け合い、良い雰囲気づくりを大切にと考えています。 また、保護者との信頼関係を大切に、安心して通える場となれるように努めます。 幼児教育の大切さや重要性を十分に認識し、教員がお互いに高め合うことのできる環境づくりに努め、責任を持って意欲的に教育活動に専念できるよう、また研究や研修の参加による資質向上に努め、より良い保育内容の充実、何より子ども自身が考えて行動する自主性を伸ばし、一人ひとり良さを保育者も子ども達も認め合い一人ひとりが愛されている存在ということを実感しながらともに成長していけるように努めていきたいと思っています。